

日本資料へのアクセスに関する アンケート調査結果

EAJRS2015 in Leidenでのアンケート結果をもとに作成

京都大学附属図書館情報サービス課

相互利用掛 原竹留美

京都大学北部構内事務部教務・図書課

共通図書掛 西川真樹子

A)一般項目

B)海外の図書館への依頼

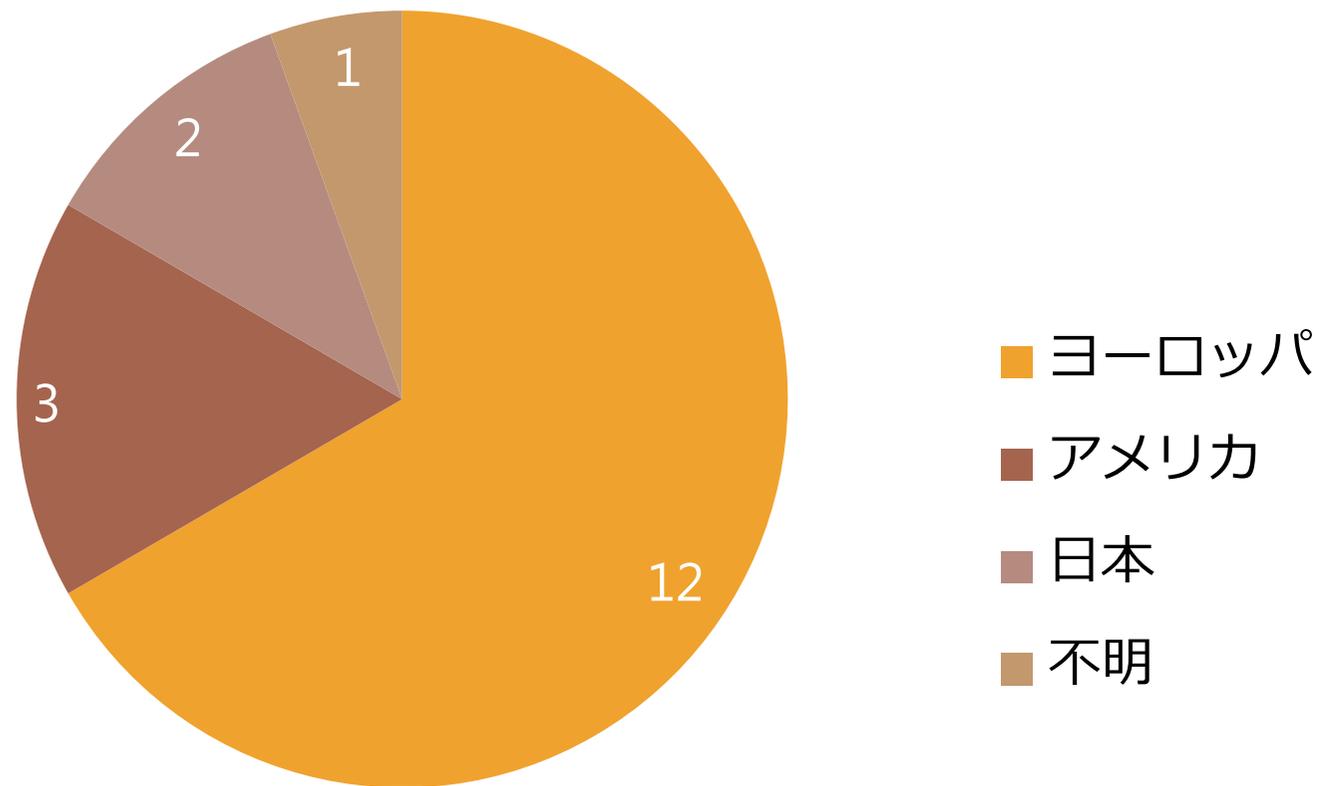
C) 海外への貸出・複写提供

D)海外から利用する日本のデジタル資料

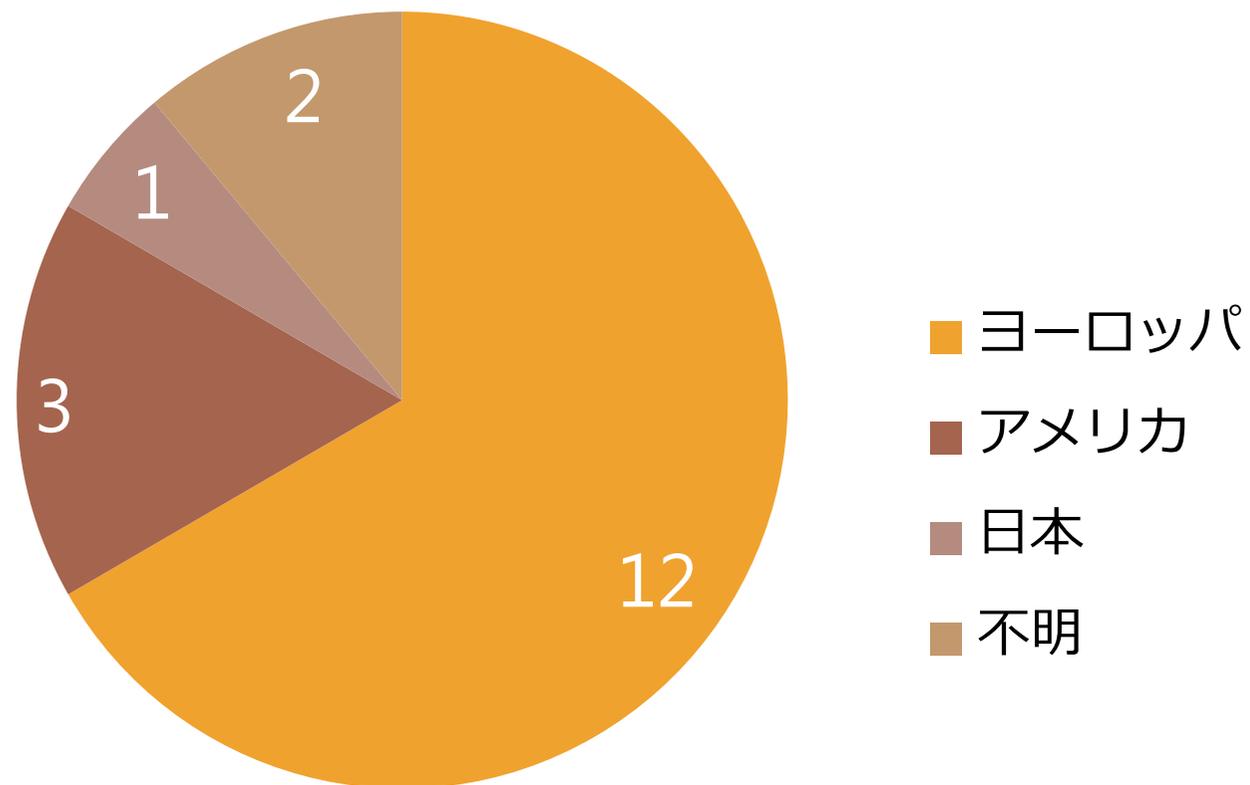
E)オープンアクセス

A. 一般項目

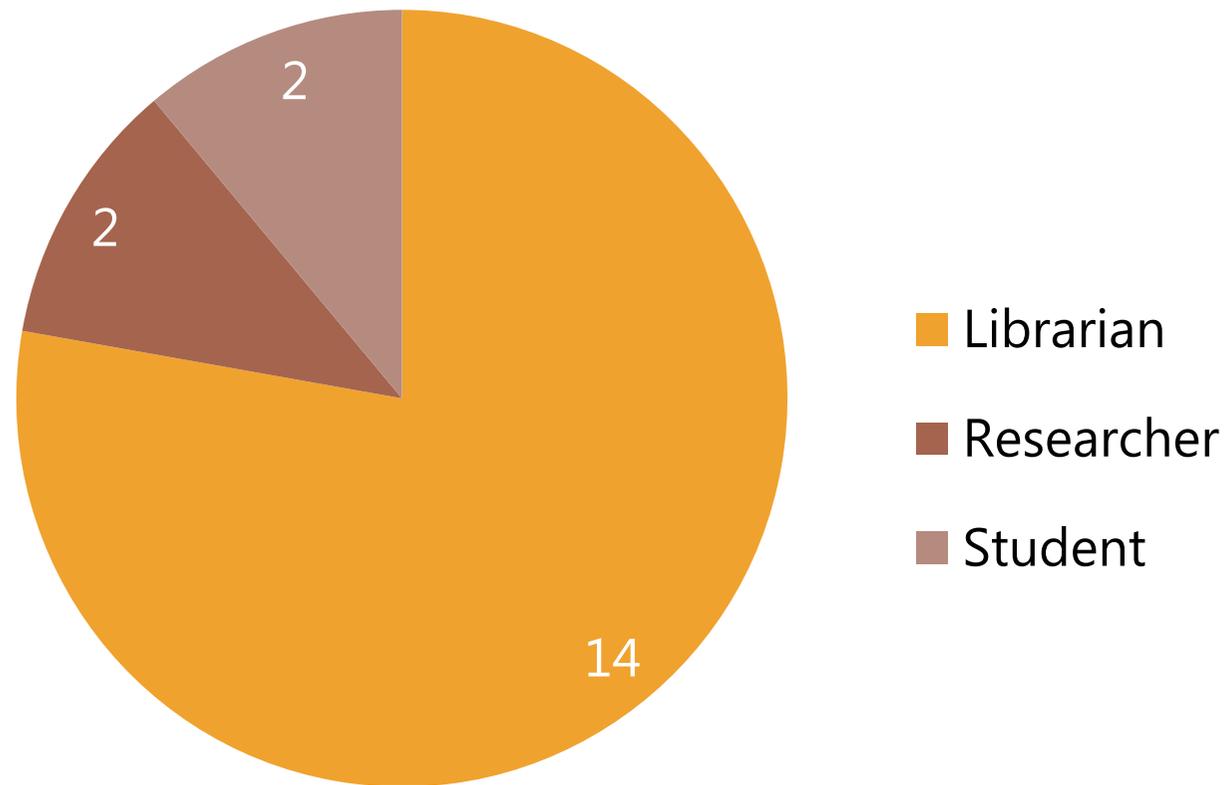
A-2. 現在の居住国 (A-1は個人情報につき省略)



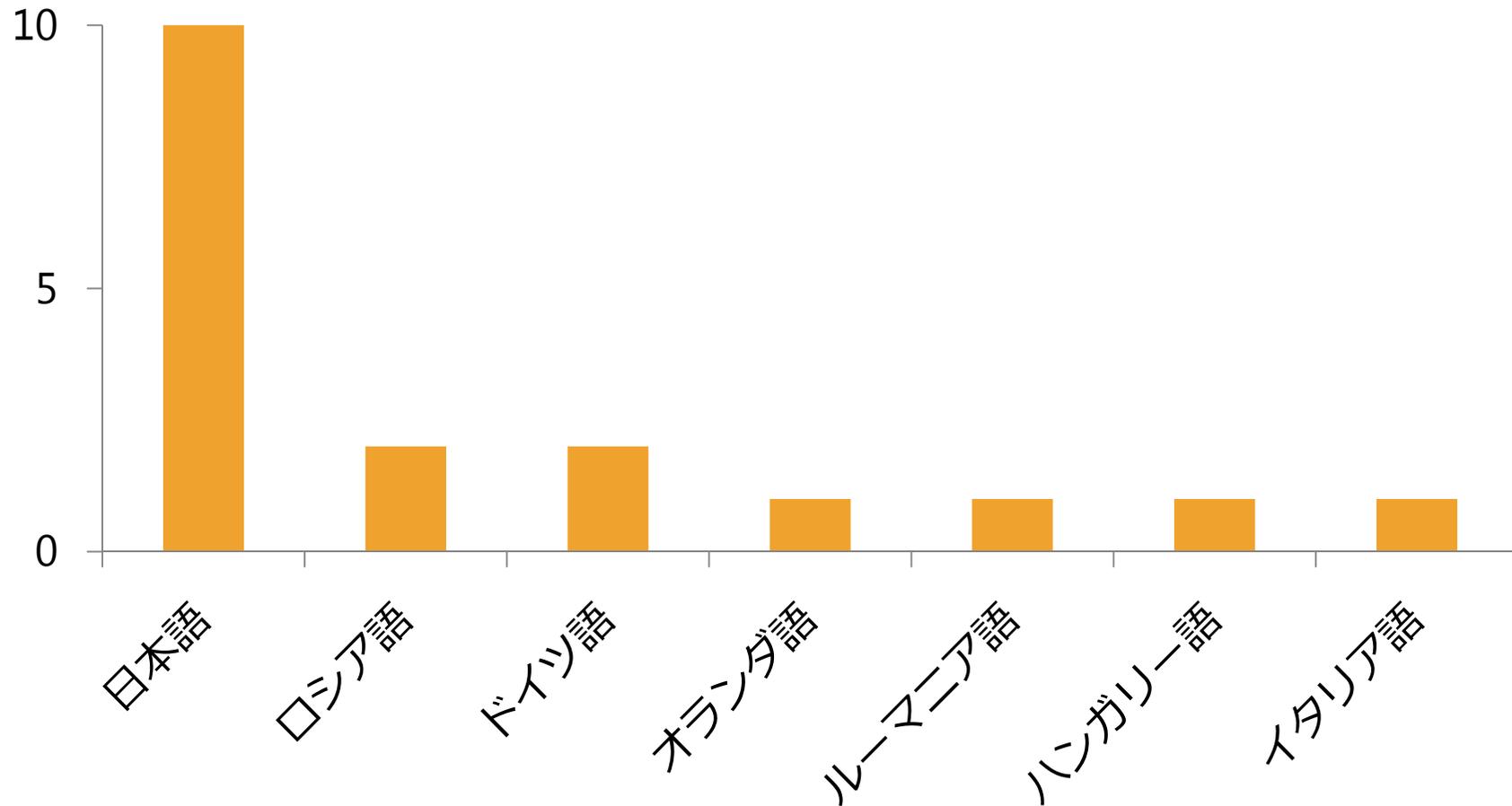
A-3. 所属



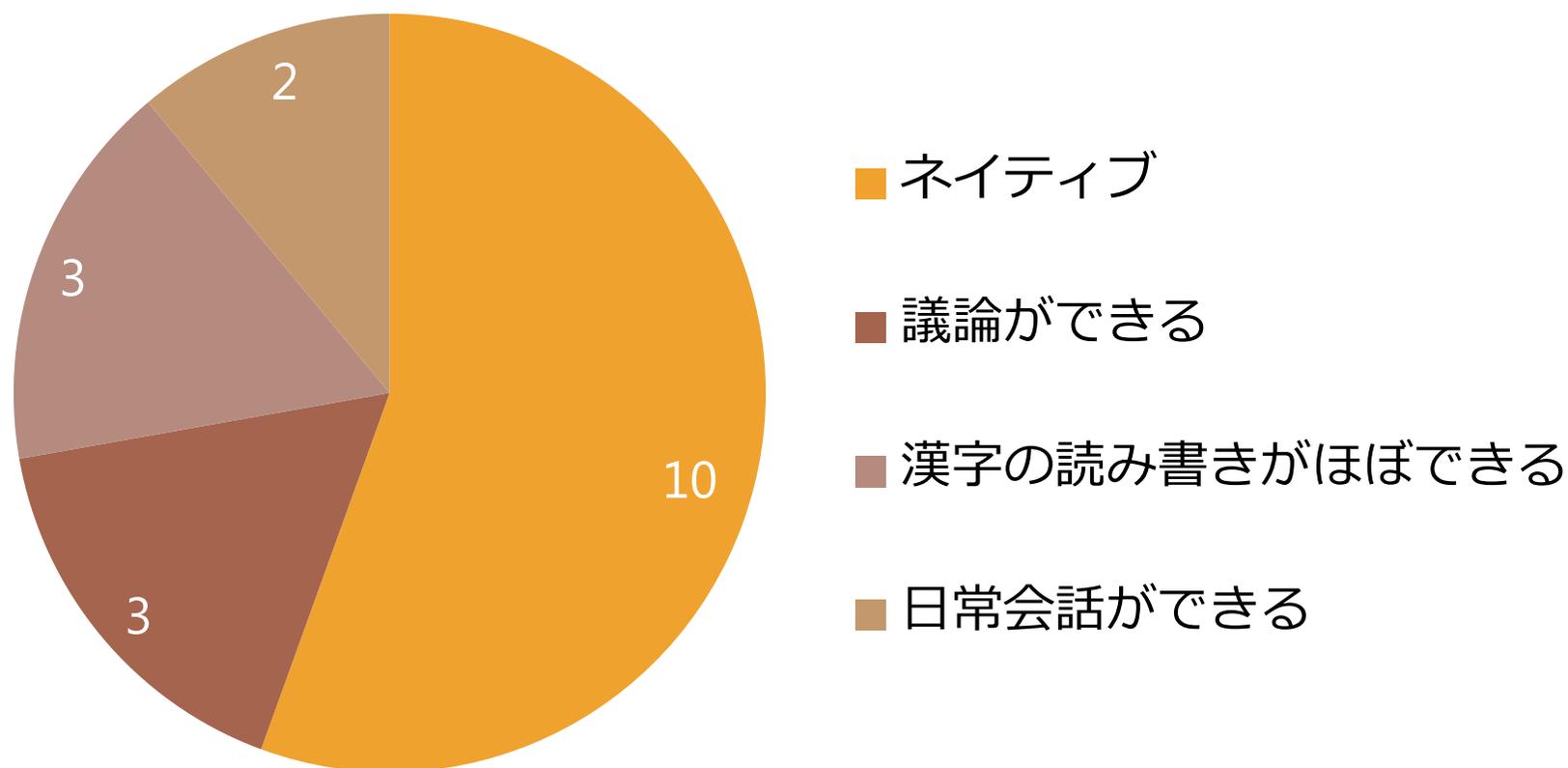
A-4. 職業



A-5. 母国語

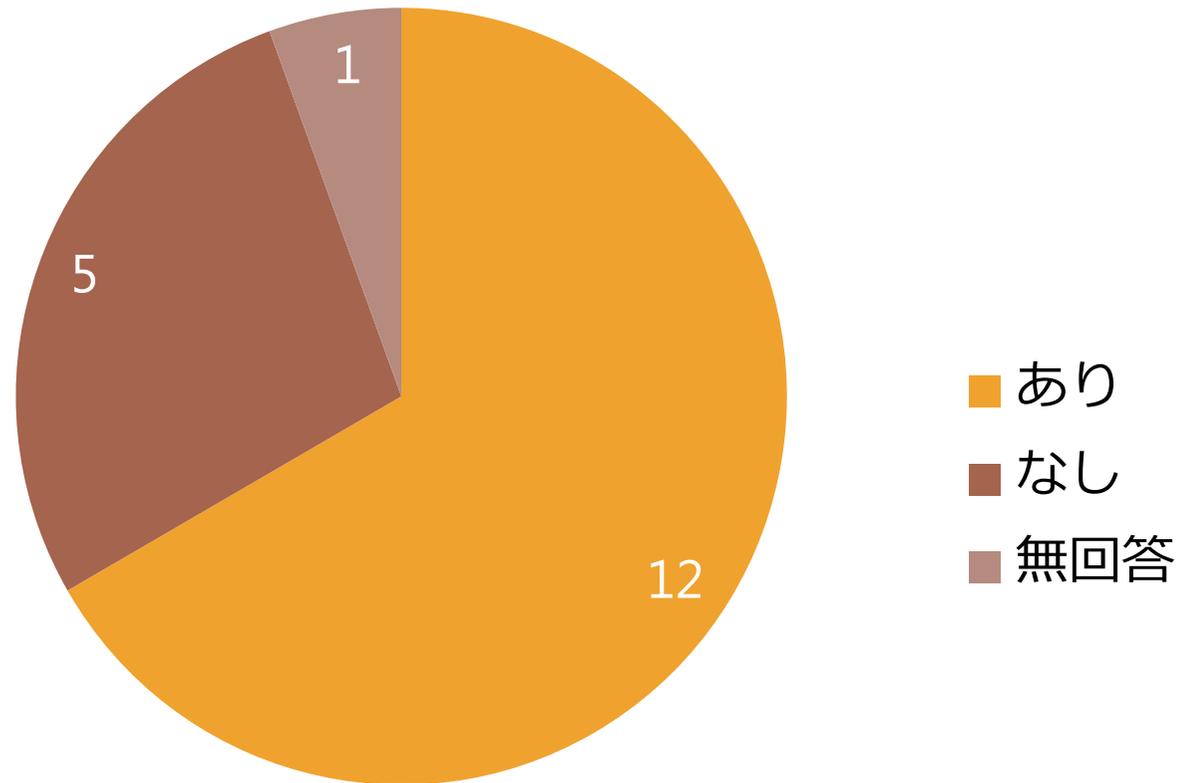


A-6. 日本語習得レベル

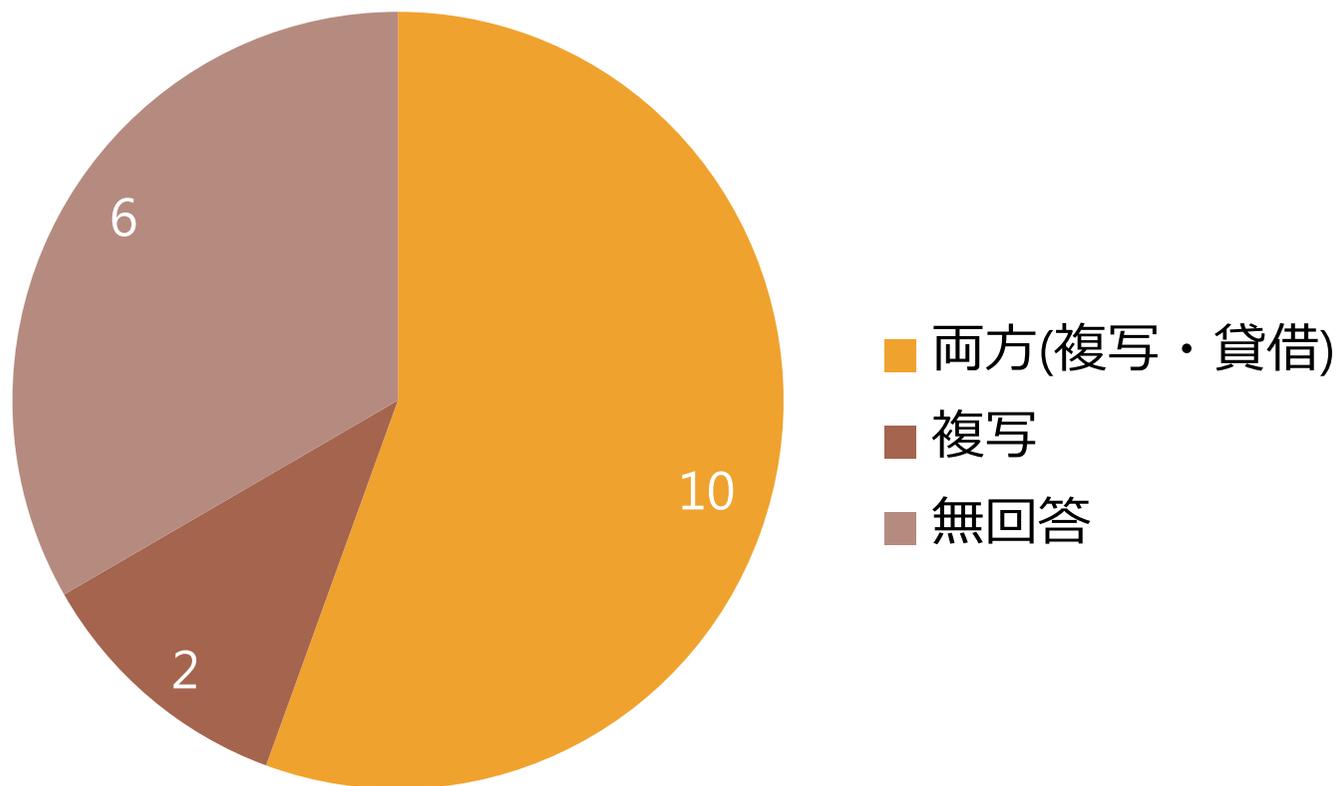


B. 海外の図書館への依頼について

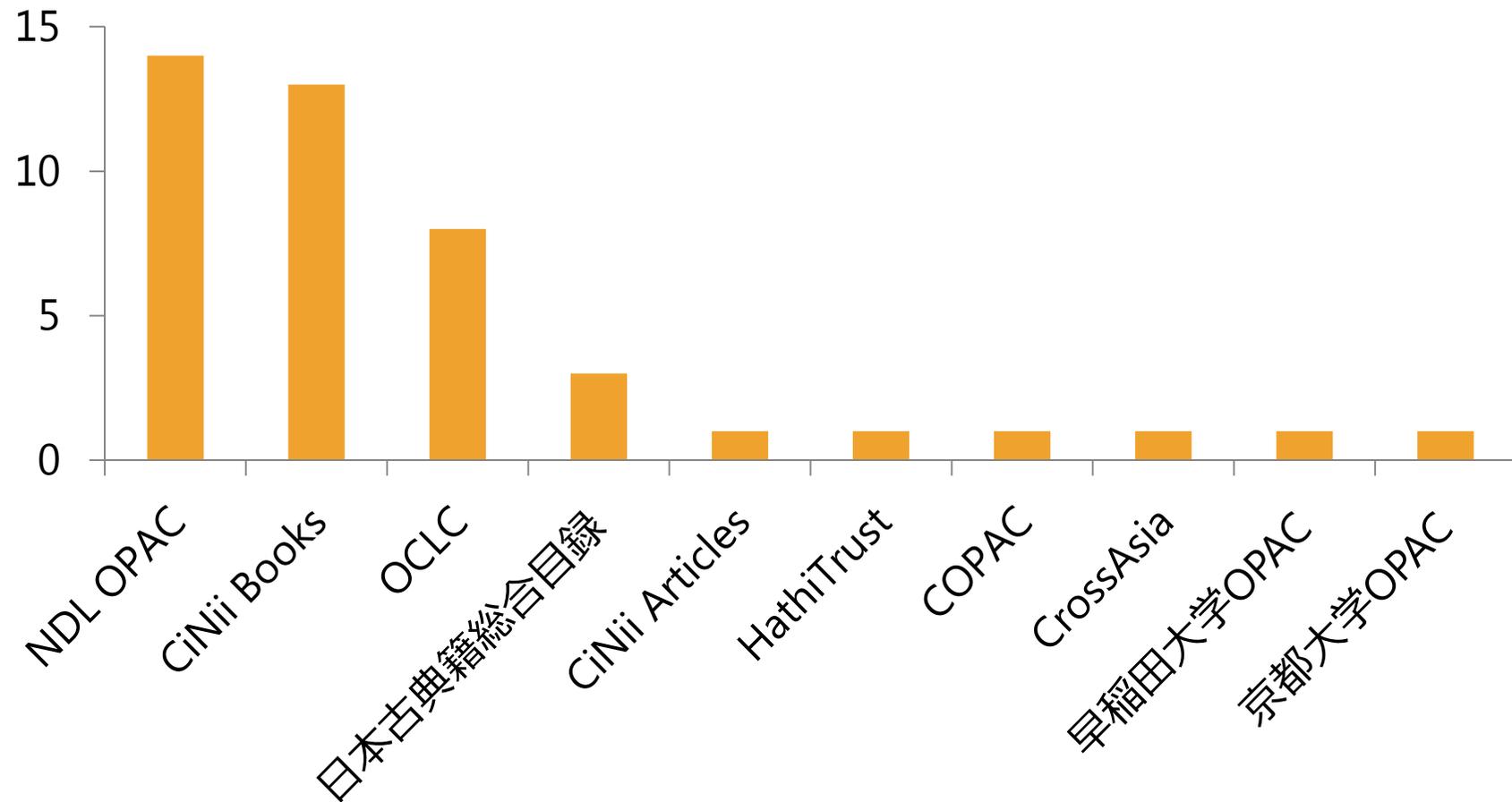
B-1. 海外の図書館へ依頼(借用・複写)することがありますか?



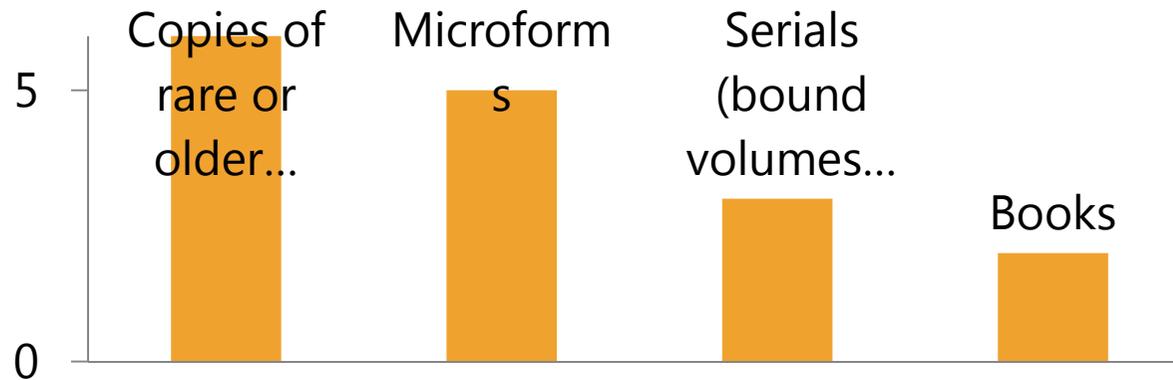
B-2. 海外の図書館へ依頼するリクエストのタイプは?



B-3. 海外の図書館が所蔵する資料を探すとき、どのような検索ツールを使いますか? (複数回答可)



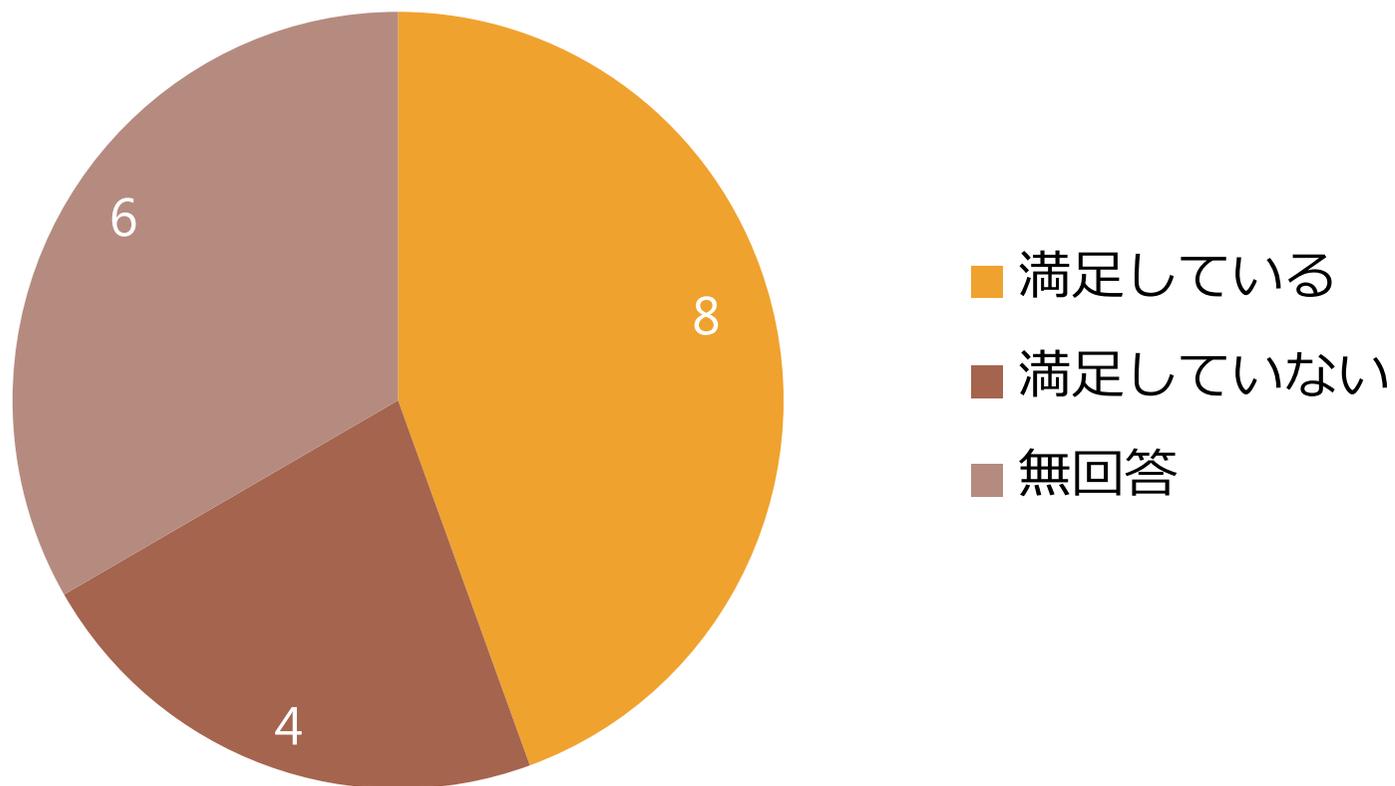
B-4. 海外の図書館から取り寄せるのが難しい資料は? (複数回答可)



[Other]

- 最新の雑誌記事
- 国立国会図書館が所蔵していないor貸出不可の資料
- articleだけはOKでも一冊は無理でこれも拒否される。まずページ数を拒否される。みつけることが不可能なので一部のコピーも不可
- pictures of hand written materials
- 博士論文
- 同志社大学より300pagesのプリントアウトを送っていただいたことがあり、大変感謝している

B-5. 海外、特に日本から資料を取り寄せることに満足していますか？



B-6. あなたの図書館の海外ILLサービスについてお書きください(その他1)

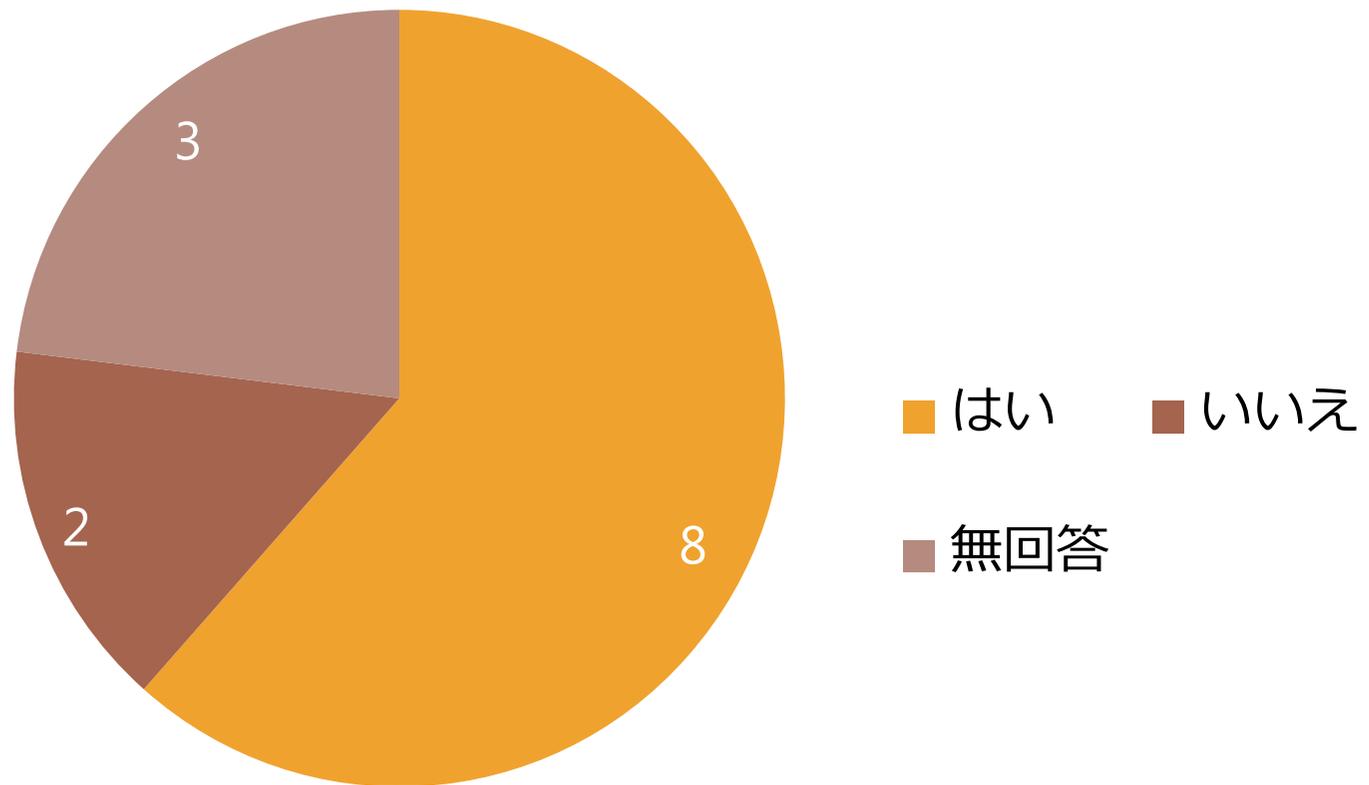
- 北欧地区内でのILLは無料だが、その他はIFLAヴァウチャーを使っている。それで間に合わないとNDL。複写は請求書をまとめて年に2,3回クレジットカード支払い。ただし図書館のクレジットカードはないので、自分個人のカードで払い、後で払い戻してもらっている。手間がかかるのでIFLAヴァウチャーが使えるに越したことはない。[Norway / Librarian]
- NCCのILLページ(GIFのページ)を参考にrequestしてもらっています [USA / Librarian]
- If a journal is not available at the NDL, it is very difficult to get a copy of this journal article, because the NDL is our only possibility for Japanese material. [Germany / Librarian]
- The copyright restriction of 30pages makes some copies very difficult. Often researcher need more than 30 pages... [Germany / Librarian]

B-6. あなたの図書館の海外ILLサービスについてお書きください(その他2)

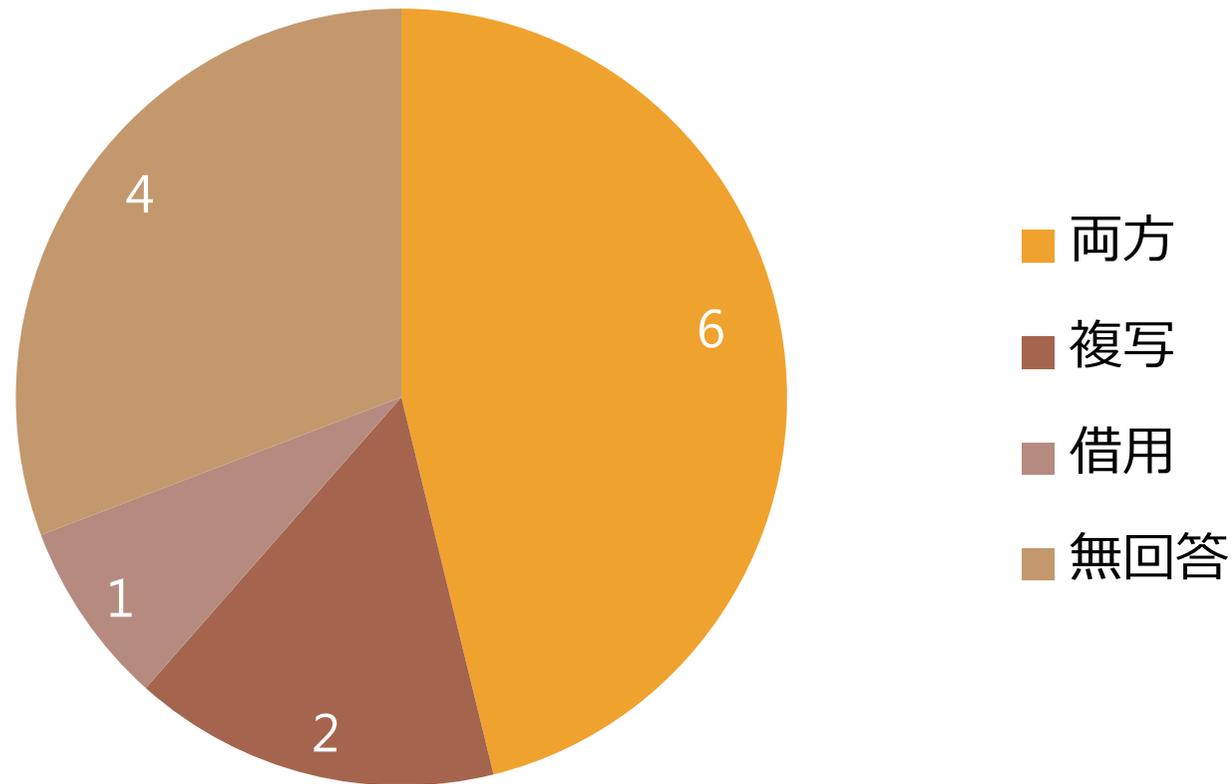
- ILL担当者ではないのでわかりませんが、日本の図書の場合、手伝う場合があります。以前よりスピーディになったので、満足します。 [Sweden / Librarian]
- German institutions do not have credit cards to copy for loans. A receipt is necessary. [Germany / Librarian]
- 雑誌はNDLさんから多くコピーを送ってもらっています。本は欧州にない場合、入手困難です。主にドイツとは交流があり、公式ではないが連絡網がある。(ドイツ国内+スイス・チューリッヒ) [Switzerland / Librarian]
- 英国人がひとりで全ての国への/からのILLを担当している(Japan Librarianは必要なときだけ介入するのみ)。IFLAバウチャーでの決済が望ましい。British Libraryのsystemを通してのILLもあり。日本からの場合、ヨーロッパの図書館に所蔵していない場合はまず第一に早稲田をチェック。早稲田にない場合は他の私立大図書館にあたる。国立大学は困難という理解。私立大が所蔵していない場合に国立大へ。 [UK / Librarian]

C. 海外への貸出・複写提供について

C-1.海外の図書館へ提供(貸出・複写)していますか?



C-2. 海外の図書館からのILLリクエストに応じているタイプは?



C-3. 海外の図書館からの依頼は、どの方法で受け付けていますか? (複数回答可)



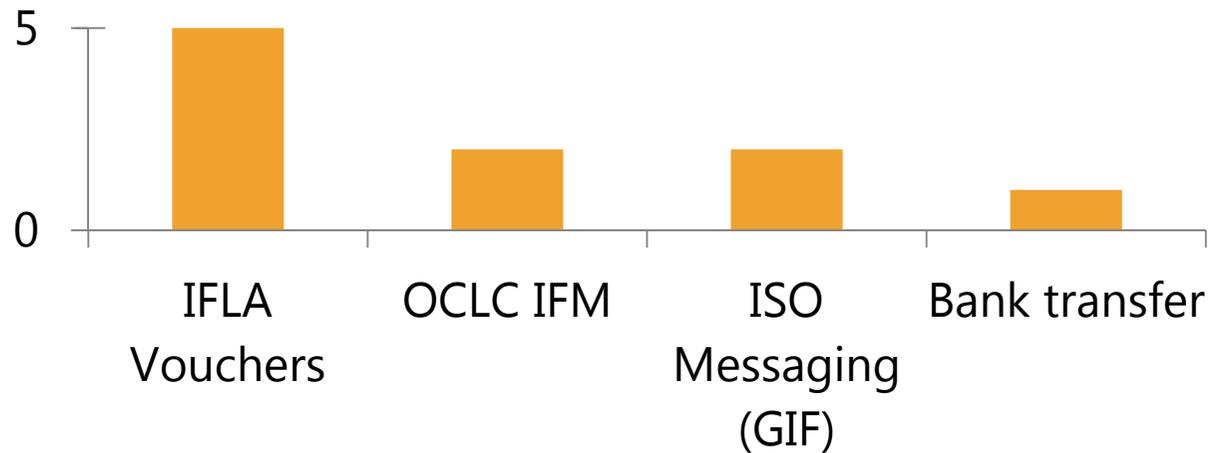
[Other]

■ Fax, Tell...

■ Western language materials are supplied via a different department. I can only answer for Japanese materials.

■ Local hosted web form -- part of our system of so called "Blue ILL"

C-4. 海外の図書館からの支払いは、どの方法で受け付けていますか? (複数回答可)

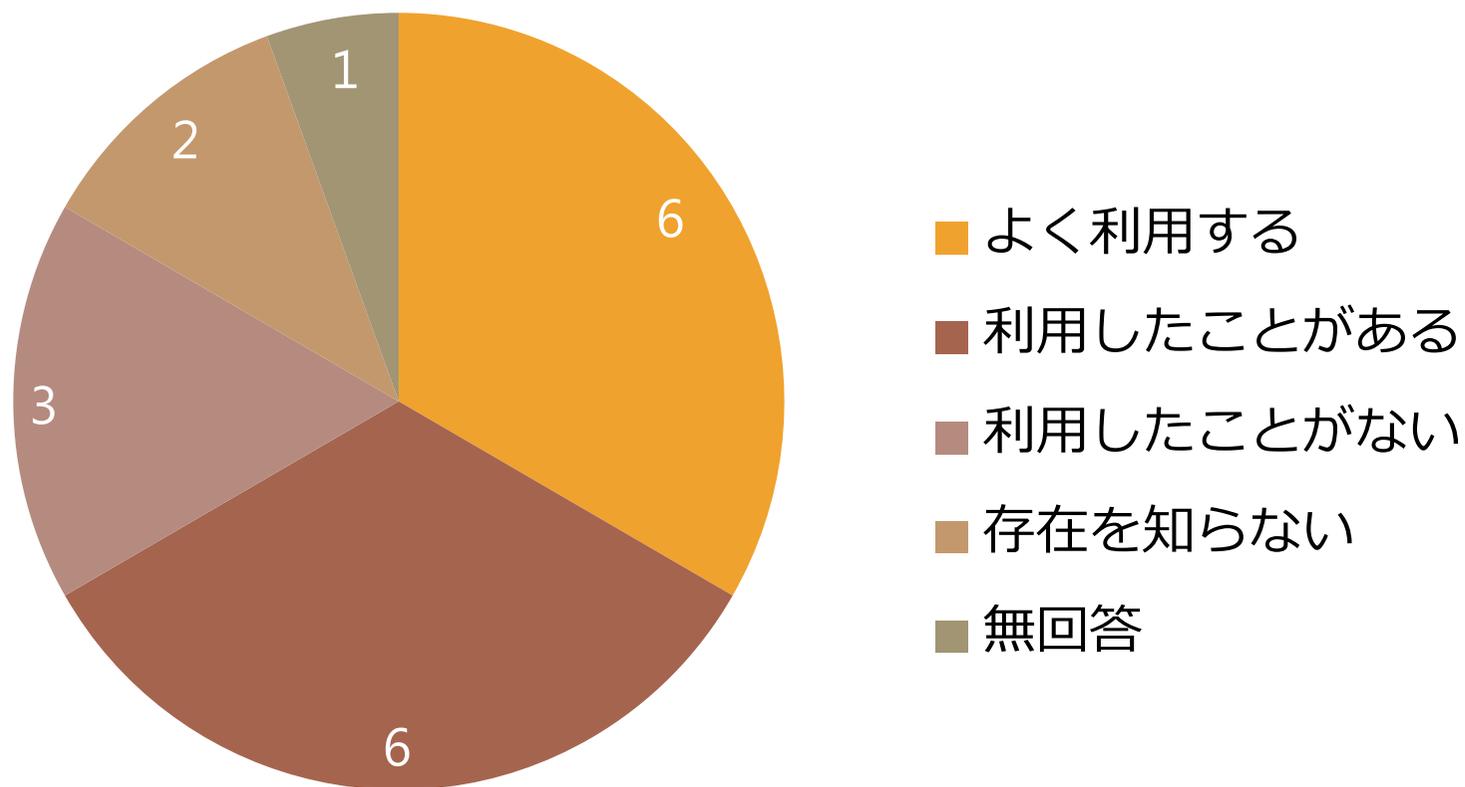


[Other]

- free for partner institutions
- 料金を徴収しない
- We do not charge anything. (but there are not so many international requests so far...)

D. 海外から利用する 日本のデジタル資料について

D-1. ご自身の所属機関のデジタル・アーカイブ(画像・音声・動画など)を利用したことがありますか?



D-2. 普段利用するデジタル・アーカイブの Webサイト名を教えてください

■ 大学・機関のデジタルアーカイブ

- Leiden University Digital Special Collections
- Minuskel (Oslo University Digital library)
- SchlarSpace (University of Hawaii at Manoa Hamilton Library IR)
- eVols (University of Hawaii Library IR)
- University of Washington Libraries Special Collections
- 国立国会図書館デジタルコレクション
- 国立国会図書館近代デジタルライブラリー
- 国立国会図書館サーチ
- 国立公文書館アジア歴史資料センター

- 長崎大学電子化コレクション
- 琉球大学附属図書館琉球・沖縄関係デジタルギャラリー
- 早稲田大学古典籍総合データベース
- 早稲田大学演劇博物館所蔵浮世絵閲覧システム
- 立命館アトリサーチセンター
- 国際日本文化研究センター
- 京都大学電子図書館貴重資料画像

■ 二次情報データベースなどその他

- HathiTrust
- JSTOR
- ProQuest
- 青空文庫

D-3. なぜ2のサイトをよく利用するのですか? (その1)

- コンテンツの分野・専門性
 - 普段見ることの出来ない資料が提供されているので [Nederland / Librarian]
 - (早稲田)英語も表示される, (日文研)他にないような資料が多い, (NDL)総合的に調べられる [UK / Librarian]
Nagasaki University has photos on my research topic. [Germany / Librarian]
 - 学生からSOASにないけれど使いたいというリクエストを受けると、まず国会サイトをチェック。助けられるケースが多い。 [UK / Librarian]
 - 探している資料がよくみつかるので、やはりいづれ統合ケンサクができればのぞましい [Switzerland / Librarian]
 - Due to the open databases necessary for my professional work [Russia / Researcher]
 - Referenceのために [US / Librarian]
 - 琉球・沖縄関係の資料をさがす場合の基本のDBとなるため [Japan / Librarian]

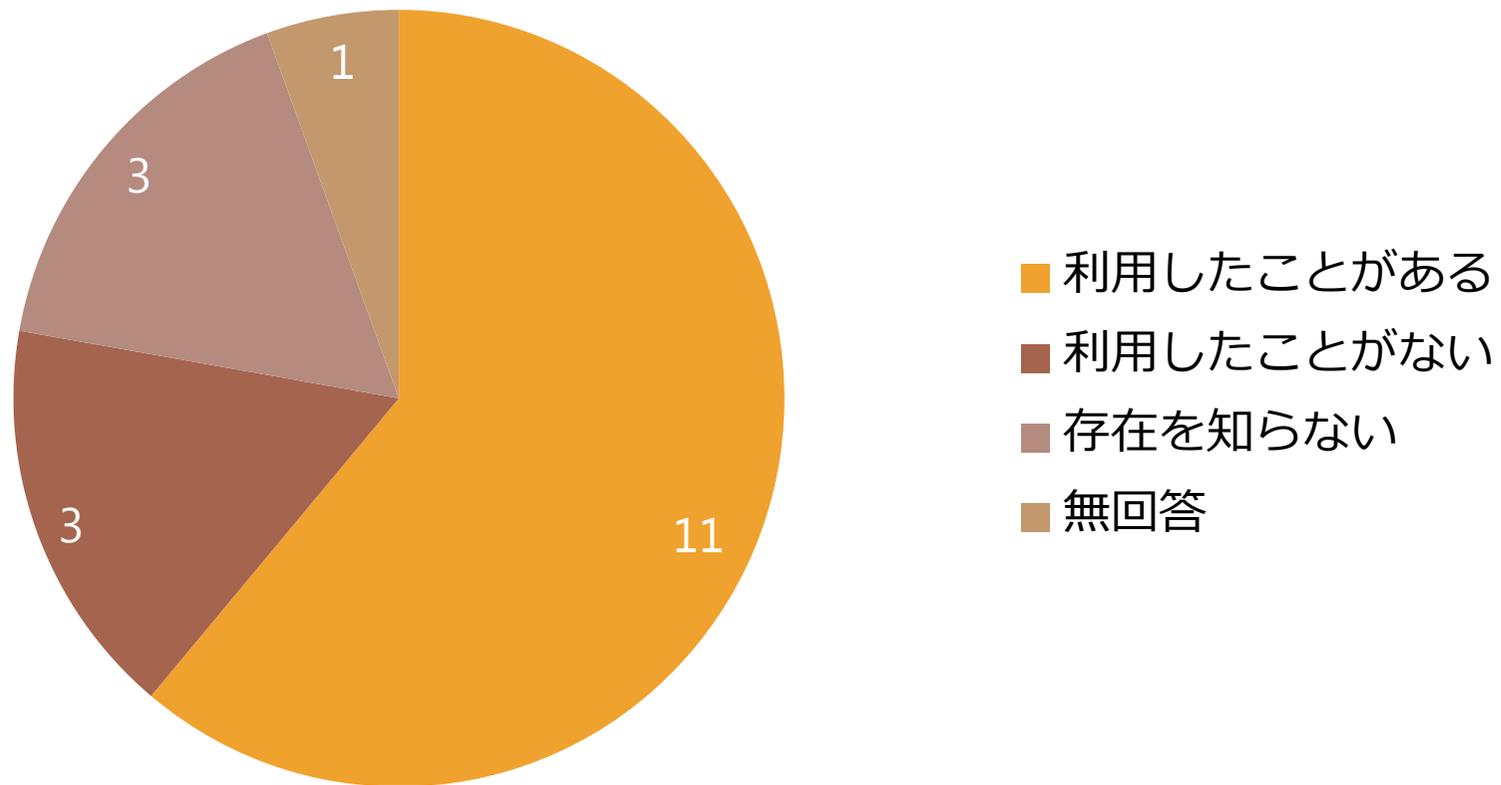
D-3. なぜ2のサイトをよく利用するのですか? (その2)

- データの利用しやすさ・オープン度
 - オープンデータが提供されているから [Romania / Librarian]
 - 特定のものはない。国会図書館の近代デジタルライブラリーは、CiNiiの検索やGoogleで導かれることもある。青空文庫は文学作品で使える場合は便利なので [Oslo / Librarian]
 - NDL provides many copyright free materials and is easy to use. [Germany / Librarian]
 - Because it is easily accessible and offers a lot of materials. [Nederland / Librarian]
 - オープンデータが提供されているから。 [UK / Librarian]
 - relevant contacts : full texts, オープンデータ [US / Librarian]
 - オープンソース, Not available as prints, オリジナルがない(所蔵), ILL不可 [US / Librarian]

D-4. データの二次利用について、困ったことがありますか? それはどのようなことでしたか? どのような解決法を希望しますか?

- 図書館の展示に利用する場合、展示のウェブサイトを使うには、著作権がクリアしている必要がある。 [Norway / Librarian]
- レイアウトがあまり良くなかったり、プリントアウトすると読みにくいレイアウトになる場合がある。 [Norway / Librarian]
- 有名大学の名をかたって画像の元データを送るように依頼してきたが、疑わしかったので、その大学の公用箋で正式に依頼してくるよう返事した。 [UK / Librarian]
- NDLのthesisなどはダウンロードできるページ数にlimitがある事 [US / Librarian]
- CCBY表示はよいと思う。あとは言葉でDBサーチインターフェイスに明記するなど [Switzerland / Librarian]

D-5. 「京都大学電子図書館貴重資料画像」 サイトを利用したことがありますか？



D-6.このサイトについてどう思われますか? 良い点や改善すべきだと思ふ点を教えてください

- 非常に使いやすいです。 [Nederland / Librarian]
- 使ったのはかなり前で、古典籍の確認につかつた。良く覚えていないが、CiNii書誌からリンクされているだろうか? もしそうでないなら、絶対にCiNiiからリンクするべき。 [Norway / Librarian]

D-7.日本資料を検索するときに、困っている点やコツがあれば教えてください

■ 日本語の問題

□ 館内に他に日本語が分かる人がいなく、ILL担当でないが、私が注文するしかない。国内他大学の日本研究者からも助けを求められるが、更に合法的なサポートが困難。注文サイトが英文になれば、日本語の分かる利用者が、日本語のわからない図書館員と協力して、注文が出来ると思う。 [Norway / Librarian]

□ Many use PCs can not input Japanese script, search. There is difficult. [Germany / Librarian]

■ デジタルデータの問題

□ There is a lot of digitized material available, but there is no central access point yet. NDL Search is very helpful tool. "Research Navi" of NDL is also very helpful. [German / Librarian]

□ I cannot use them online - I can get information about but cannot read them [Russia / Researcher]

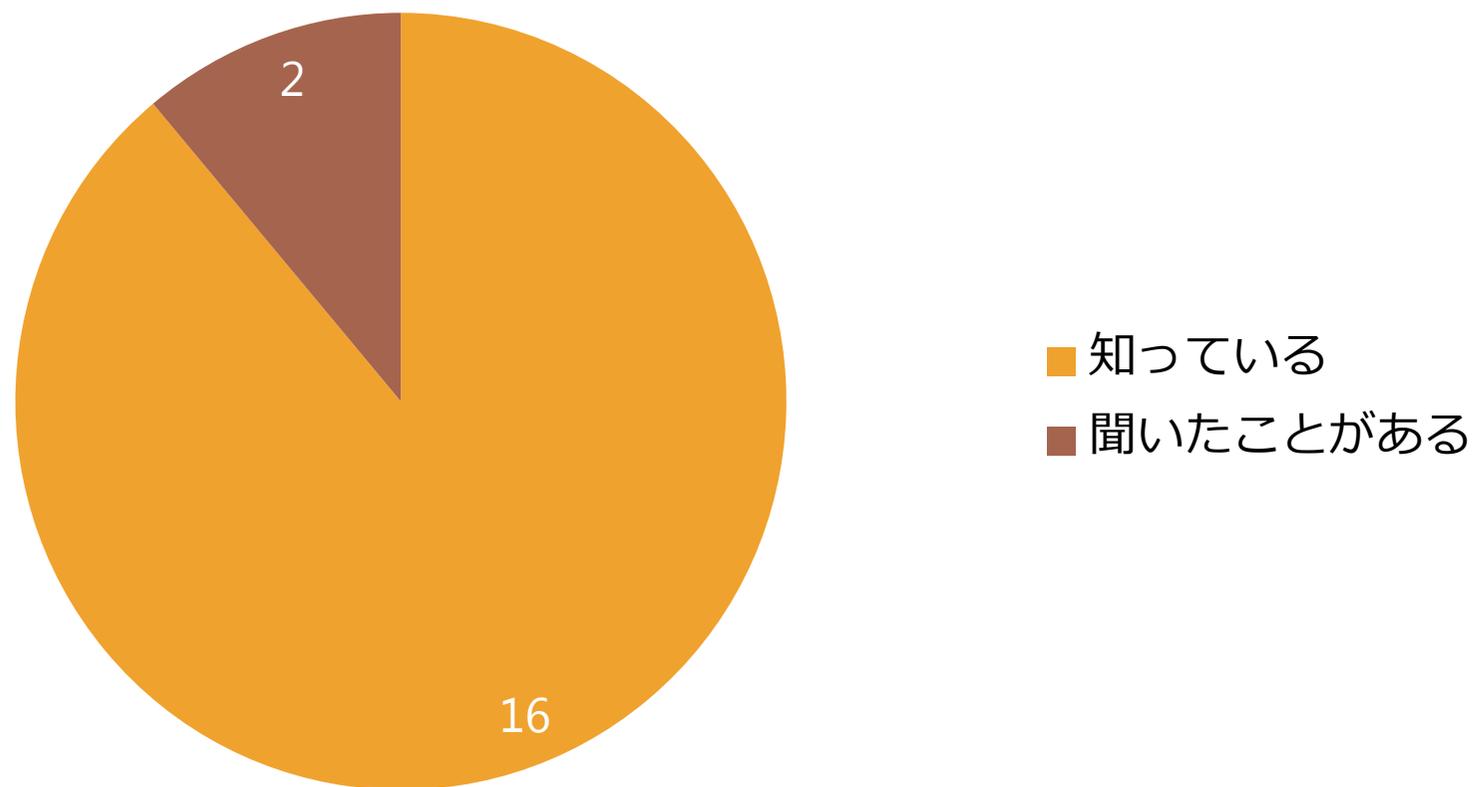
D-7.日本資料を検索するときに、困っている点やコツがあれば教えてください

■ データの点在性の問題

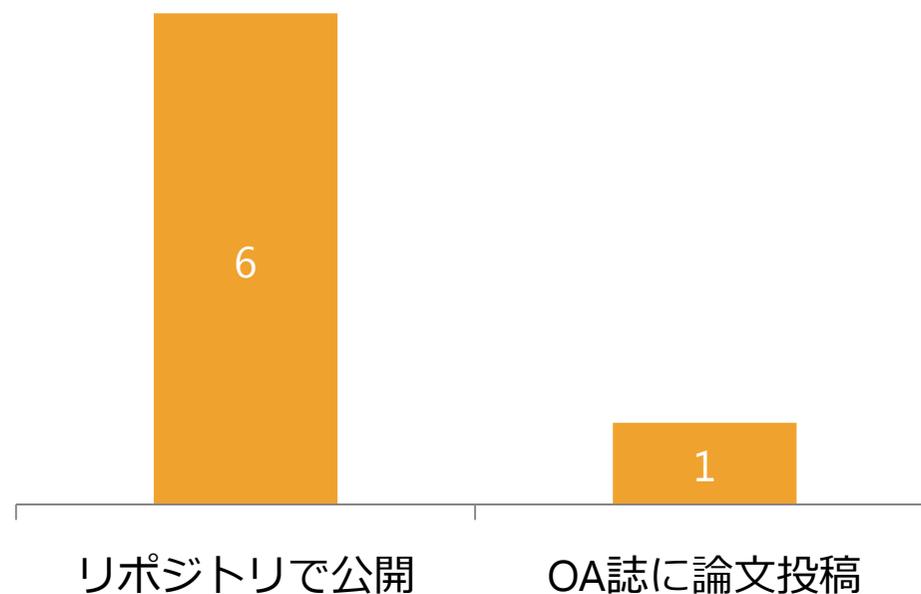
- 資料が散らばっていて探しにくい。NDLのリファ協やリファレンスページは広いガイドになっている。[US / Librarian]
- やはり統合ケンサクがないと大変です。あとは件名などが日本語件名で統一されていると便利かもしれない。[Switzerland / Librarian]
- 点在しているので、あちこちのサイトを検索する必要がある。グーグルで偶然に見つける。多分、存在するのに見つけられていない貴重な画像資料は多くあると思う。埋もれている資料が多い。[US / Librarian]

E. オープンアクセスについて

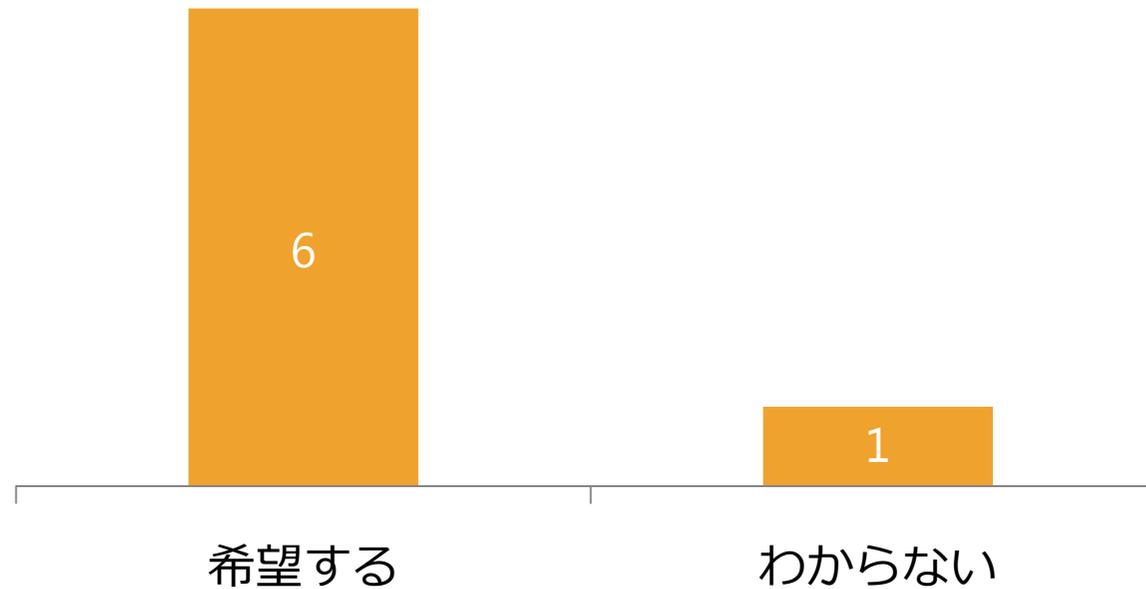
E-1.オープンアクセスとは何かご存知ですか？



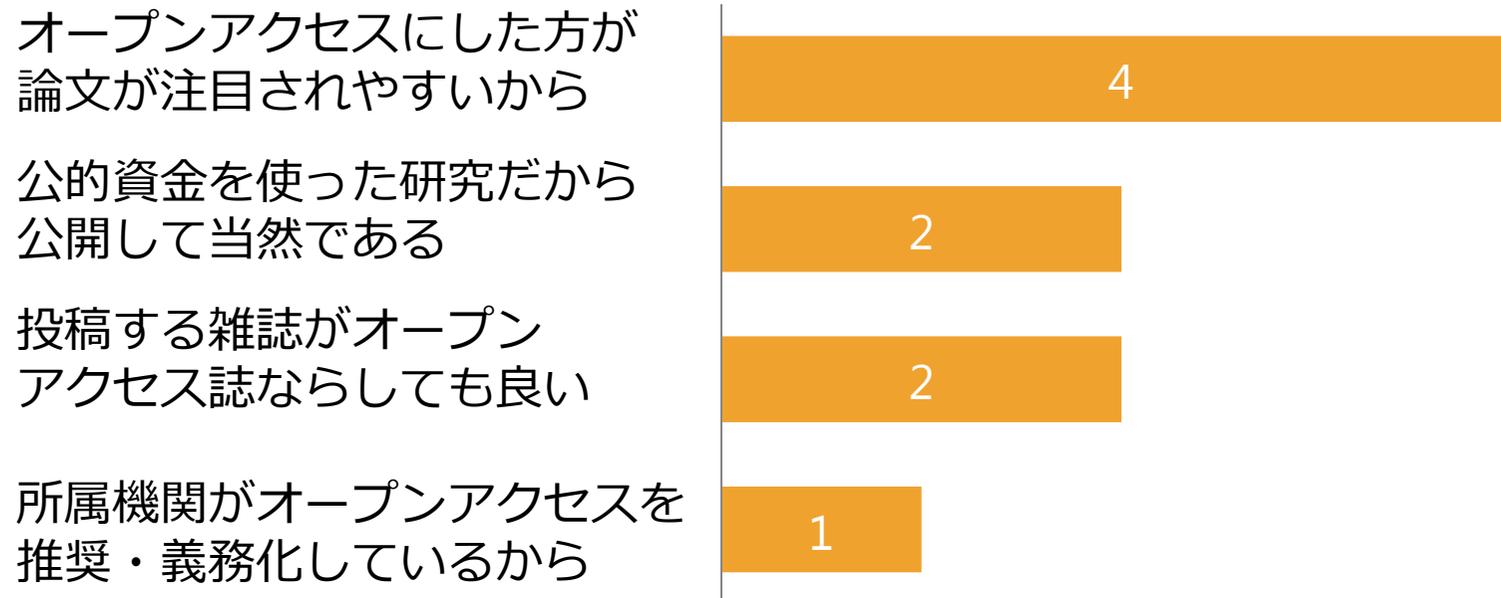
E-2. 研究者の方に質問です。今まで何らかの手段
でご自身の研究成果・論文をオープンアクセスに
したことがありますか? (複数回答可)



E-3. 研究者の方に質問です。今後、ご自身の研究成果・論文をオープンアクセスにしようと思いませんか？



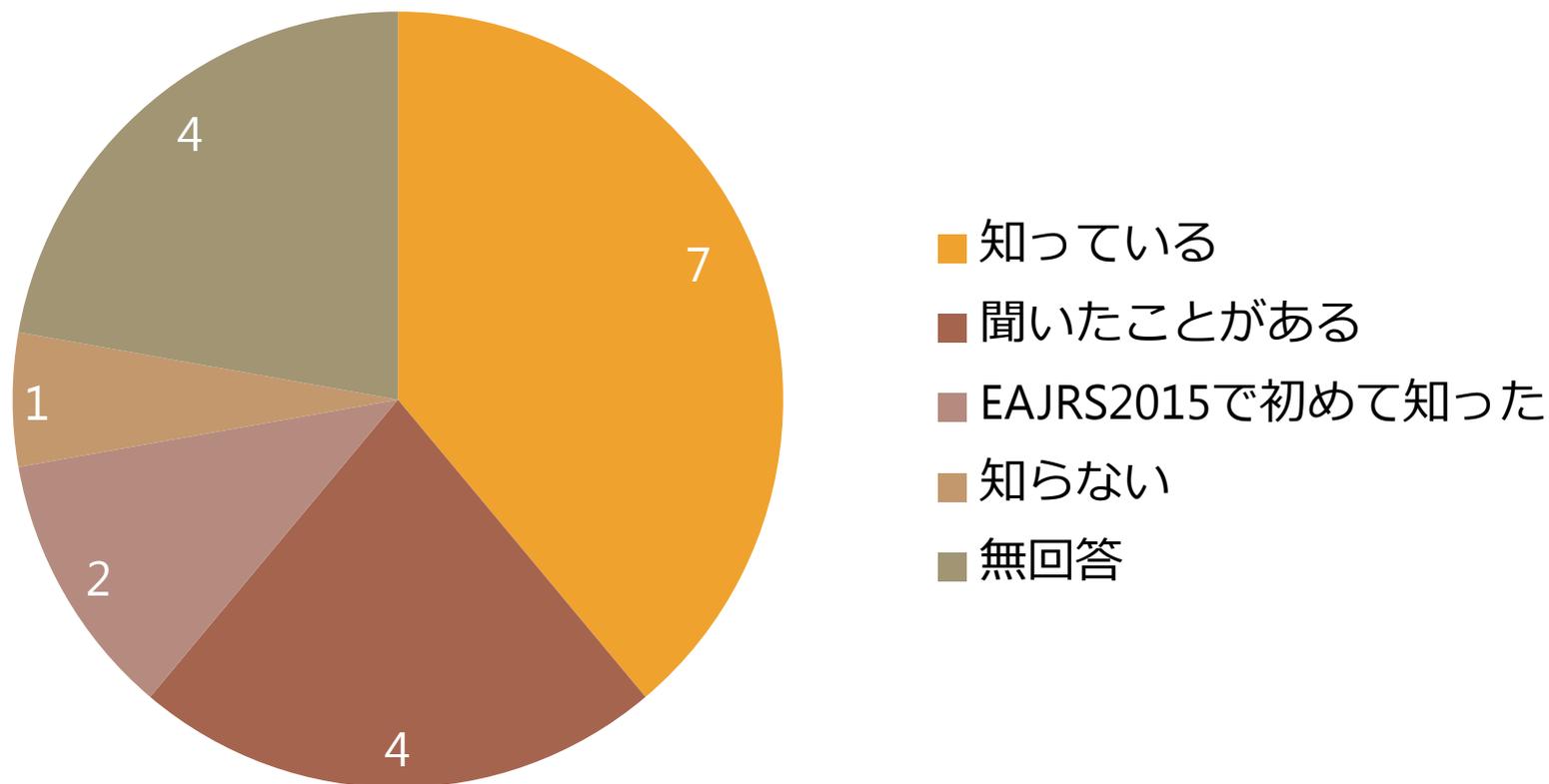
E-4. 3の理由は? (複数回答可)



[Other]

- 博士論文なので、学位規則により公開
- 研究成果にご興味のある方はご自由に読んでいただくと幸いです

E-5. 京都大学は2015年4月28日に「京都大学オープンアクセス方針」を採択しました。ご存知ですか？



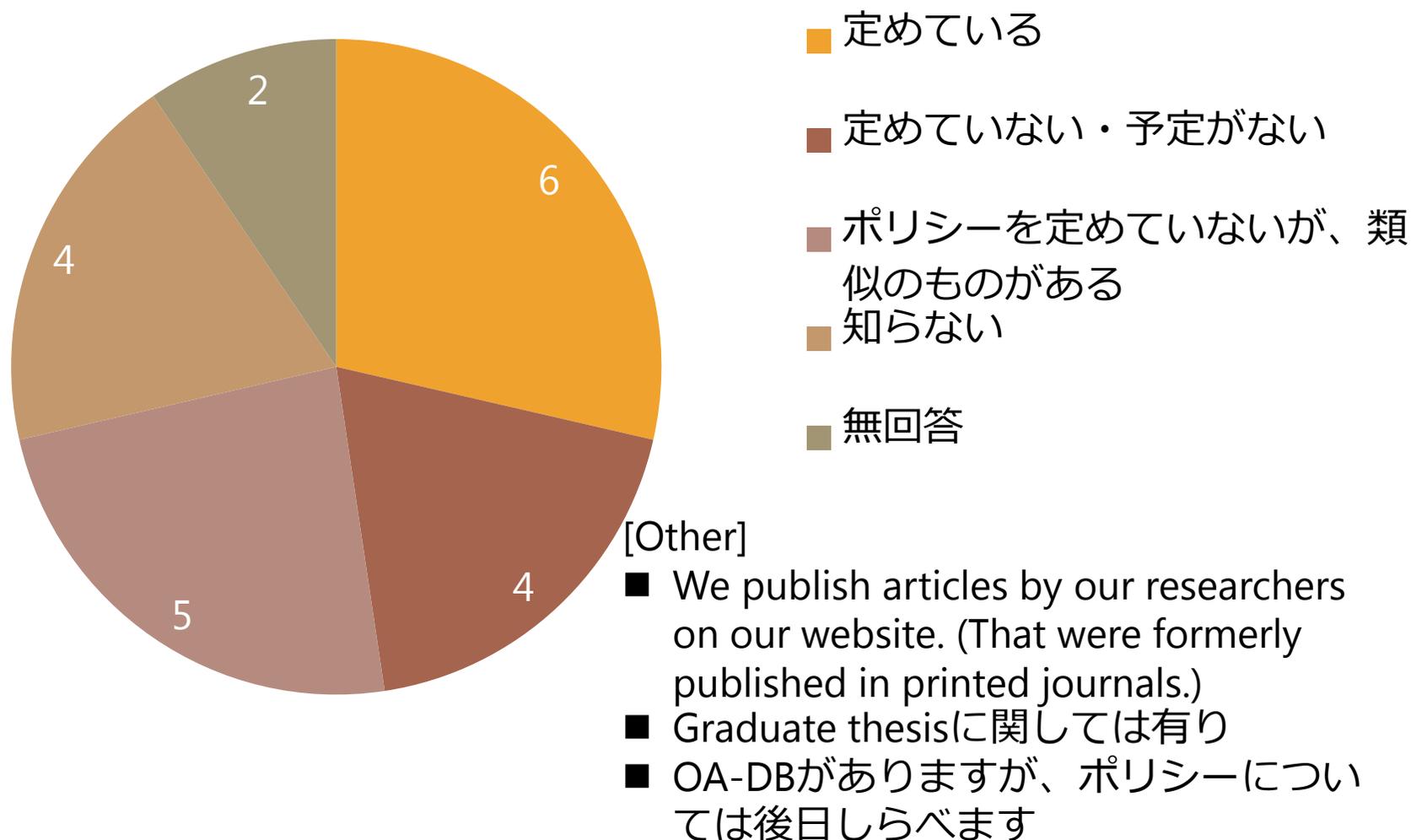
E-6. 京都大学のオープンアクセスが進むことで期待することがあれば教えてください (その1・コンテンツ拡充についての回答)

- オランダ在住だと簡単には手に入らない資料を読むことができるので。
[Nederland / Librarian]
- 研究者のPer-review記事や博士論文、その他研究者による学術記事だけでなく、国会図書館の雑索でヒットする既存雑誌の記事も入ると良い。
[Norway / Librarian]
- If it gives the free access to the researchers from abroad It will be very useful. [Russia / Researcher]
- I heard that at Kyoto Univ. Library there are some manuscripts collections (i.e. Matudaira Tadanobu bunko). I wonder if it will be in open access for researchers abroad. [Russia / Researcher]
- 紀要のみならず学術論文や統計などものせて頂きたく存じます。大学の歴史、統計(大学史)等のfull textもお願いします(もしまだでしたら)。

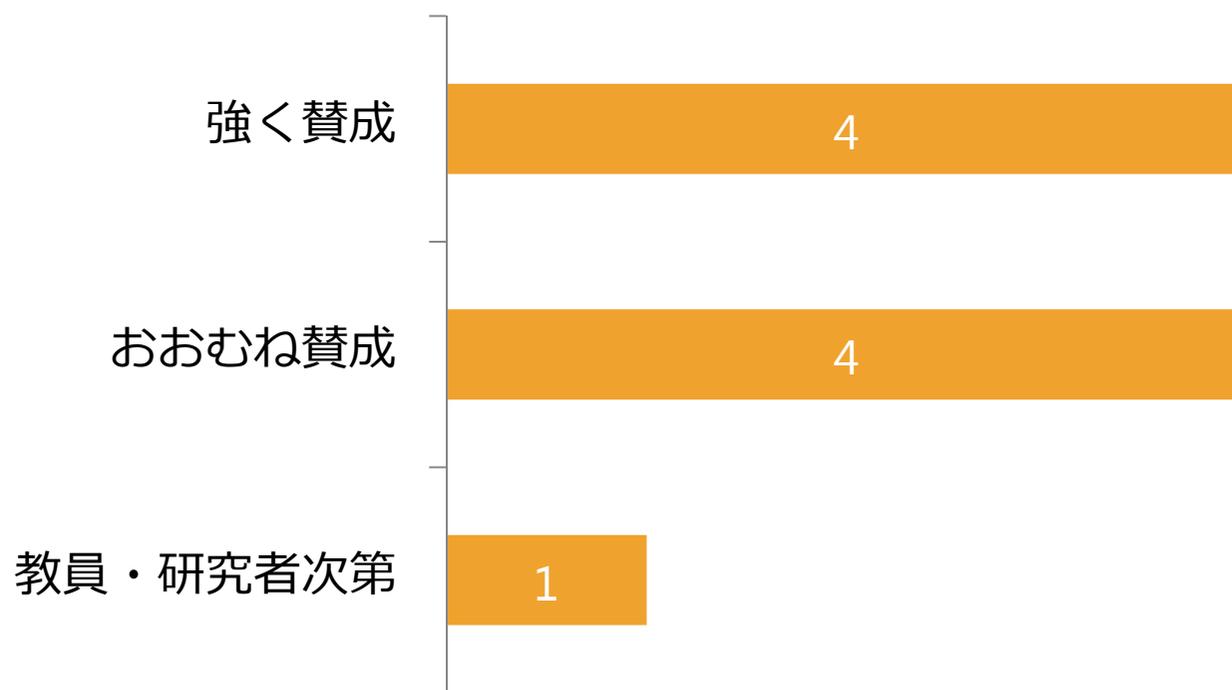
E-6. 京都大学のオープンアクセスが進むことで期待 することがあれば教えてください (その2・オープンアクセスの広がりについての回答)

- 他の大学が追随すること [UK / Librarian]
- 他の(査読付の)学術雑誌がOAに積極的になるのではないかと期待しています [Japan / Librarian]
- 京大の研究成果にaccessし易くなる→同じ研究が重ならずに済む(研究者の交流) [USA / Librarian]
- 他大学のモデルになる機関でopenaccessが進んだ事で他大学でもOAが始まる事を期待できる [USA / Librarian]
- I think it is very helpful that the Japanese government went stress the need for a open access. The more Universities adopt an open access policy like Kyoto University the better for the academic world. [Germany / Librarian]
- "way to go!" 日本の研究の世界標準化のためには必須 [USA / Librarian]
- Well research material should be easily resealable thorough good preparation of unabled date provided with good metadata provided by KU library. [Germany / Librarian]
- 査読のあるOAジャーナルは今後増加してくれるとありがたい。京大さんがその可能性を見せてくれるのは他大学・出版社にとって刺激になる。 [Switzerland / Librarian]

E-7. 所属機関はオープンアクセス・ポリシー等を定めている・定める予定がありますか？



E-8.オープンアクセスを積極的に推進していくべきだと思いますか? (複数回答可)



E-9. 教員や所属研究者へオープンアクセスを普及していくときに苦労していることや工夫していることがあれば教えてください

- 既存のステータスある雑誌にしか出す気のない先生がいる。 [Norway / Librarian]
- 毎年、北米のOpen access weekに合わせて、event, kctue 等を教員open access代表者と供に行っている。何かPRやpromoteするときは、必ず教員と一緒にやらなければインパクトがない。大学全体のiventとしてやる必要がある。 [Japan / Librarian]
- Submission方法がsimpleでない事。研究者へのpromotion [USA / Librarian]
- 私は厳密な意味での「研究者」ではないですが、拙稿をいくつかrepositoryにオープンアクセスで入れた後毎月数本は閲覧・ダウンロードされていておどろく。IRにdownloadされた回数・タイトルを毎月知らせてくれる機能が付いており、お知らせがemailでしるようになっている。オープンアクセスにはこのお知らせ機能が必要だと思います。 [USA / Librarian]]
- スイス・ドイツの場合は研究者が積極的に申告しているようだ。研究所が研究者のOA資料に尋ねてそれをOA-DBに入力している。 [Switzerland / Librarian]